

平成 28 年 11 月 22 日

各 位

碧海信用金庫

## 平成 28 年度上半期の経営情報の開示について

碧海信用金庫（理事長：石川 澄夫）は、平成 28 年度上半期における業績の要約を、以下のとおり公表いたします。

## 記

## 1. 主要業績数値

（単位：百万円）

		平成 28 年 9 月期 （当期）	平成 27 年 9 月期 （前期）	増 減
預貸金状況	預金積金残高	1,936,260	1,913,431	+22,829（+1.19%）
	貸出金残高	1,017,631	992,684	+24,947（+2.51%）
	預 貸 率	52.55%	51.87%	+0.68 ポイント
損益状況	業 務 純 益	2,192	2,229	△37（△1.67%）
	経 常 利 益	2,267	3,207	△940（△29.32%）
	当 期 純 利 益	1,616	2,353	△736（△31.29%）
経営指標	自己資本比率（単体）	17.26%	18.01%	△0.75 ポイント
	不 良 債 権 比 率	3.22%	3.25%	△0.03 ポイント

※単位未満切捨て表示。

※不良債権比率は金融再生法ベース。

## 2. 業績コメント

## 〔預貸金状況〕

- 預金積金残高は、個人・法人のお客さまからの普通預金を中心に順調に増加しました。
- 貸出金残高は、住宅ローンをはじめとする個人のお客さまへの貸出金が増加しました。

## 〔損益状況〕

- 貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少などにより資金利益が減少しましたが、国債等債券関係損益の増加などにより、前年同期並みの業務純益・実質業務純益を確保することができました。
- 株式等関係損益の減少や貸倒引当金戻入益の減少などにより、経常利益は前年同期比 9 億 40 百万円減少の 22 億 67 百万円となりました。

## 〔経営指標〕

- 自己資本比率は貸出金の増加などの要因により、前期末比 0.42 ポイント低下し、17.26%となりましたが、信用金庫に求められる国内基準 4%を大幅に上回っています。
- 不良債権比率は前期末比 0.11 ポイント低下し、3.22%となりました。

以 上